

申1号 本日提出！

組合員・社員へのあらゆるハラスメント行為を許さず、 働きやすい職場環境を実現する申し入れ



JR東労組ステーションサービス協議会は、「安全・健康・ゆとり」ある職場をめざしてこの間運動をつくり出してきました。そして、労働条件や労働環境の向上をめざして、真摯かつ建設的な労使議論を行ってきました。そのような中、一部職場において**組合員に対するハラスメント行為と労働組合活動の否定**とも捉えられる事象が発生しています。

2022年11月16日、タブレット端末に配信された「2022年度年末賞与の支給について」に対して、リアクション機能を用いた返信を行ったところ、翌日に管理者から「なぜ、怒っているリアクションをとったのか」と聞かれ、**組合員は「私は会社に対して交渉の場で意見を言ってきた人間である。会社はもっと出せると思った」と返答したところ、「あなたは会社に文句があるようだが、コロナ禍による業績悪化で倒産している会社もある。給与や手当が出るだけで有難く思いなさい」**など言われました。

さらに11月25日、同じ管理者から**点呼の場で「今日は給料日です。〇〇君は会社に文句があるようですが、今現在コロナ禍で業績悪化が理由で倒産している会社もあるのだから、皆さん給与・手当が出る・もらえるだけでも有難く思いましょう」と名指しで組合員に対する発言**がありました。

このような行為は、**本人の名誉を著しく傷つけ特定の組合員に対するハラスメント行為**であると言わざるを得ません。また、**JR東労組の年末手当要求の実現をめざして、会社と真摯に団体交渉の場で意見し議論してきたことを「文句」と言う事態は、労働組合活動の否定**であり、断じて認めるわけにはいきません。組合員からも「他の社員への見せしめ的な行為だ」「労働組合活動への批判だ」と声があげられています。

この間労使間議論において、ハラスメント行為や不当労働行為に対して議論し是正を求めてきましたが、**今も続くハラスメント行為や労働組合活動の否定とも捉えられる事象に対して会社として謝罪するとともに、二度と発生させないための対策を講じ指導徹底することを強く求めます。**

1. 管理者からのハラスメント行為に対する事実経過を明らかにするとともに、本人に対して謝罪すること。
2. 今後二度とハラスメント行為を発生させないための対策を講じるとともに、本社として指導徹底すること。

あらゆるハラスメント行為を許さず、 働きやすい職場環境を実現しよう！